

2023年1月31日



各 位

会社名 株式会社 コメリ
 代表者名 代表取締役社長 捧 雄一郎
 (コード番号 8218 東証プライム)
 問合せ先 取締役常務執行役員 早川 博
 TEL. 025-371-4111(代)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年4月26日に公表いたしました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の連結及び個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	385,000	28,500	28,600	18,100	372円42銭
今回修正予想(B)	379,000	25,700	25,500	16,100	331円16銭
増減額(B-A)	△6,000	△2,800	△3,100	△2,000	—
増減率(%)	△1.6	△9.8	△10.8	△11.0	—
(ご参考) 前期実績(2022年3月期)	376,094	27,825	28,248	17,897	360円22銭

(2) 個別

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	374,500	25,000	25,800	16,400	334円51銭
今回修正予想(B)	368,000	22,000	22,500	14,300	294円13銭
増減額(B-A)	△6,500	△3,000	△3,300	△2,100	—
増減率(%)	△1.7	△12.0	△12.8	△12.8	—
(ご参考) 前期実績(2022年3月期)	365,619	24,322	25,054	15,827	318円55銭

2. 修正の理由

(1) 連結

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、戻り梅雨等の影響もあり夏物季節商品が低調に推移したことによって第2四半期までの売上高が伸び悩みました。第3四半期は冬物季節商品が堅調に推移しましたが、第2四半期までの当初計画との差額を埋めるには至りませんでした。利益面につきましては、店舗運営モデルの刷新、EDLP施策の推進による効果がみられたものの、急激な円安や原材料価格の高騰等により売上総利益率が予想を下回りました。また、販売費及び一般管理費における水道光熱費の大幅な上昇により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益において、当初の計画を下回る見込みであります。

このような状況を勘案いたしまして、2022年4月26日に公表いたしました2023年3月期の通期業績予想を修正いたします。

(2) 個別

連結と同様の理由により、2022年4月26日に公表いたしました2023年3月期の通期業績予想を修正するものです。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上